

学業と専門性 インターンシップ

Ⅱテモ3:1～13 見えるところは敬虔であっても、その実を否定する者になるからです。こういう人々を避けなさい。(5)

235 番 生命のみことば (新 200 番)

聖句暗唱 _ ヨハ 14:6

聖書通読 _ エズ 1 章

誰が何と言おうと、Remnant には学業と専門性が必要です。この時代を生きていく神の子どもは、聖書が語っている未来を伝えなければなりません。世の中の多くの宗教は、良い未来が来ると話します。しかし、聖書は、最後に苦しみの時が来ると言っています。このような時代の前で Remnant は何を勉強し、準備すべきでしょうか。

1. 根を抜きなさい

時代はますます難しくなり、その中で個人さえ失敗しています。失敗するしかないネフィリム運動、私の中にある力に頼る瞑想、私の考え世の中が語る暗やみの文化の根を抜いて新たな始まりをしなければなりません。神様は私を世の中の子どもではなく、神の子どもとして呼ばれました。

2. 新しい根

世界をいやし、世界を征服するために、新しい根を下さなければなりません。この根とともに世界を生かすために 62 の奥義の中で力を得て、学業を征服する 6 つの道具 LVTNPO Covenant, Vision, Dream, Image, Practice を持って学業を征服するのです。このとき、神様の CVDIP Covenant, Vision, Dream, Image, Practice が出てきて、ただ、唯一性、再創造の答えが始まります。この力を持って 0.1% の時代を生かすサミットの座に行くのです。

この根はみことばによってだけ、変わることができます。根が変わるときに戦わずに勝ち、競争することなく祝福の座に立つようになります。私を通して他の人が福音を聞かなければならないため、神様は必ず私の人生を祝福されます。

契約の祈り

神様が消えた世の中で、ただ福音と福音の中にある実力によって世の中を生かす証人になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

Q.

どのような知恵を求めていますか

世の中と時代を生きていく Remnant には世の中の学問、職業をつなぐ職業に関する知識も必要です。

しかしサタンが掌握した世の中を生かさなければならないため Remnant に何より必要なのは学問と知識の根本である福音の力です。

「主を恐れることは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。」 箴 1:7

「あのむなしい、だましごとの哲学によってだれのとりこにもならぬよう、注意なさい。それは人の言い伝えによるもの、この世の幼稚な教えによるものであって、キリストによるものではありません。」 コロ 2:8

「また、幼いころから聖書に親しんで来たことを知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。」 Ⅱテモ 3:15

20

OCTOBER・火

Remnantの目標 - 裏面契約

IIテモ 4:1 ~ 5 しかし、あなたは、どのような場合にも慎み、困難に耐え、伝道者として働き、自分の務めを十分に果たしなさい。(5)

456番 主とともにあゆむ (新430番)

- 聖句暗唱 _ ヨハ 14:6
- 聖書通読 _ エズ 2章

神様は私を世界福音化を成し遂げる人生に呼ばれました。そのため、私は今日、神様のミッションを握ってインターンシップの中で神様が願われる裏面契約を握ります。世の中にだまされずに神様が願われる Remnant 運動、第 1、2、3、4、5 RUTC 運動を成就することに、私たちの人生をかけるのです。それなら、これからどのような体質を準備すべきでしょうか。

1. 新しい体質

新しい体質、つまりサミットの器を準備することです。Remnant のときに、このサミットの器を準備させることが目標です。荒野のような人生の中で神様の働きを心に留めて、私のミツパ運動と私たちのことを見つけるドタンの町運動からもっと進んで、私たちは時代と神様の契約の中にいる見張り人であることを知らせて、会堂、講堂、世の中に出て行くのです。

2. Remnantの終わり - every

Remnant は始まりと終わりを確実に知らなければなりません。Remnant は何もない「No」の座から、神様のすべてが含まれている「every」の座に行くようになります。神様が備えられ Remnant が行く道には、すべての人が生かされて神様が備えられた道が見えます。神様は残った時代を Remnant に任せられます。これ Remnant の始まりと終わりです。

聖書の Remnant は何もない座から始めましたが、福音の力によって時代を生かし、時代に福音の力を伝えました。神様は Remnant の人生に福音の力を入れることを願われ、神様の絶対目標を私たちを通して成し遂げることを願っておられます。

契約の祈り

神様の証拠を握って、現場と未来の契約を逃しませんように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

Q.

私たちがこの時代の切り株です。

時代の風は吹く 切り株のゆえ
主の栄光は現れる

必ず変わる未来を見あげ
みことばに堅く立って

賛美「切り株 2000」より

すべての木が取り倒されて
福音が消えたこの時代に
神様は Remnant を備えられました。

神様は必ず
神様が願われる未来を
Remnant を通して作っていかれます

私たちは、今日、必ず変わる
神様の未来を夢見る Remnant です。

21

OCTOBER・水

No way – Every way

出 3:1 ~ 18 彼らはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの王のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。(18)

265 番 聞けや愛の言葉を (新 516 番)

- 聖句暗唱 _ ヨハ 14:6
- 聖書通読 _ エズ 3 章

Q.

断捨離

- 断、切ること
- 捨、捨てること
- 離、抜け出すこと

イスラエルの民がエジプトに奴隷になりました。イスラエルの長老たちは、この状況を解決する道がなくて多くの傷を抱えて嘆いています。指導者になるモーセは何もすることができなくて放棄状態です。このとき神様は、モーセにイスラエルの民を連れて出て、血のいけにえをささげるように言われました。神様が絶好の機会を備えられたのです。この祝福を味わうためには何を見なければならぬのでしょうか。

1. 絶対不可能 – 絶対可能

私の力では絶対不可能ですが、状況を見るものではありません。産業人は絶対不可能の中にある神様の契約を見なければなりません。そのとき、神様がくださる絶対可能が見えます。暗やみの勢力は、福音の前に崩れます。

2.No way – Every way

産業人重職者の生活は、誰もできなくて、行けない道から始めますが、No way その道はすべて人を生かす道になります。Every way 10 のわがわいを通してイスラエル民族がエジプトから出ました。これを全世界が見ました。これが伝道です。

何かうまくできない人は、すべてをしようとしなくて、1 つにまことに集中すると働きが起きます。不必要なことから抜け出しなさい。

契約の祈り

誰も行くことができない、その道が神様がくださった絶好の機会であることを知って、私が行く道がすべての人を生かす道になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

22

OCTOBER・木

道がない時

出 3:1 ~ 18 彼らはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの王のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。(18)

313 番 ゆく道はひとつ (新 524 番)

- 聖句暗唱 _ マコ 10:45
- 聖書通読 _ エズ 4 章

Q.

祈りの時間は

幸せですか

祈りはときめきです。
朝、祈りで
1 日のときめきを見つけます。

祈りは時刻表です。
人間関係から来る問題と
葛藤の中で
神様の時刻表を見つけます。

それゆえ
祈りは感謝です。
祈りは幸せです。

世の中には道がありません。イスラエルの民が道を見失ったときに神様は答えをくださいました。出 3:18 神の子どもは道がない時に神様のみことばから確認、整理しなければなりません。そして、みことばの流れに乗らなければなりません。どうすれば良いのでしょうか。

1. 始まりと過程

イスラエルの民にわがわいが降りかかりました。福音喪失と次世代の死、奴隷 これは始まりです。福音を握った人の問題、苦しみ、迫害は新しい始まりです。そして必ず過程があります。苦しみには積極的に立ち向かわなければなりません。歴史的な契約で希望とミッションを持って、証拠を握らなければなりません。

2. 結果

母親から聞いた契約がモーセに成就しました。出 2:1 ~ 10 王宮から出た時にイテロ長老に出会いました。3:1 羊の血を塗る時に解放されました。3:18

神の子どもは、みことば成就の流れの中に留まれば良いのです。朝に神様くださる恵みと感謝で心がときめく時間を持たなければなりません。夕方には深い時間を持ち、昼間は 24 時神様を見上げる時間を持たなければなりません。そうすれば、生涯の答えがついて来ます。

契約の祈り

道がない時はみことばを確認し、そのみことばの流れに乗ってみことば成就の中に留まることができるよう。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

洗盤

出 38:8 こまた彼は、青銅で洗盤を、また青銅でその台を作った。会見の天幕の入口で務めをした女たちの鏡でそれを作った。

530 番 病める手さしし出せ (新 472 番)

- 聖句暗唱 _ マコ 10:45
- 聖書通読 _ エズ 5 章

誰でも問題が生じたら解決策を求めます。しかし、聖書には解決策でなく神様の隠れた答えを見つけなさいと記されています。答えを見つける礼拝の座に出て来て、祭壇を築きなさいということです。契約の旅程に従って行く道に苦しみが来るのは当然です。その道で作る洗盤にはどのような意味があるのでしょうか。

1. 肉体の力

荒野の道を進む間は伝染病に苦しめられることがあるので、洗盤を作りなさいと言われました。ですから、洗盤はイスラエルの民の健康を守るという意志が込められています。水で洗うように民の健康を管理してくださいということです。この洗盤の契約を通じていのちを生かす水の役割を果たしなさいというメッセージも込められています。

2. みことばと霊的な力

洗盤の水はいのちのみことばを意味します。みことばの前に集まって契約を握って、傷と間違った根性を洗わなければならないのです。そして解放と力と天国の背景を味わう力を回復しなさいということです。一歩進んで、神様のみことばを心に留めなさいということです。神の子どもが霊的な力を回復させるなら根源を得ることになります。

人の眼には見えない力があります。神様の力によって、私は新しい力を持つようになりました。私はこの力を得る驚くべき身分を持っています。とてもすばらしい神の子どもの權威を祈りで味わうことができます。

契約の祈り

父なる神様、今日が新しい始まりになりますように。新しい恵みと霊的な力をくださり、世の中を生かす恵みを受けますように。

Q.

聖書は非科学でしょうか、超科学でしょうか

出エジプト当時の歴史を考えると、まだ文明と医療体系が整う前であるのは明らかな事実です。

しかし神様は衛生を管理する余裕と力がないイスラエルの民を驚くほど、きめ細かく導かれたことを確認することができます。

洗盤を作って個人と集団の衛生状態を管理するようになさいました。

今、与えられたことが私を疲れさせ、落胆と不平に走らせても神様がするようにされたことなら明らかに私が悟れない理由があります。

したがって、従順と信仰が人が神様の御前にささげることができる最高の選択です。

幕屋の囲いを作りなさい

出 38:9 ~ 20 柱のための台座は青銅で、柱の鉤と帯輪は銀、その柱の頭のかぶせ物も銀であった。それで、庭の柱はみな銀の帯輪が巻きつけられていた。(17)

245 番 栄えに満ちたる (新 210 番)

- 聖句暗唱 _ マコ 10:45
- 聖書通読 _ エズ 6 章

毎週ささげる礼拝をイベントとして捉えてはいけません。一度の礼拝を通じて契約を握って深い祈りの中に入るなら、まことのいやしと霊的な力を得るようになります。そのとき、肉体も生かされる体験をしましょう。私の人生を通じて次世代がついてくる足跡を残すには、先に重要な答えを味わわなければなりません。それは何でしょうか。

1. 全世界 237 か国のための祈りの場を設けなさい

自分の人生を価値ある作品にするには、まず先に祈りの時間を持たなければなりません。神様は祈る人を探して力をお与えになるからです。神の子どもの祈りは、御使いを通じて神様に伝えられます。神の子どもが主の御前で祈り礼拝をする時間は、人生最高の出会いとなるインマヌエルの時間です。

2. いやし 24 時とサミット

亜麻布で包むのは区別を保護を意味します。神様はまことのいやしをなされるということです。幕屋の庭を作りながら、ともしびを消してはならないと言われたのは、旅人がいつ来るかわからないからです。幕屋の囲いにサミットが集まる教会を立てるのは、とても重要なことです。その教会だけが時代を生かすことができるからです。

私の信仰生活を超えて、契約の旅が見える教会を次世代が経験できるようにしなくてはなりません。誰も見ることも行くこともできないことを、全ての人が見ることができる再創造の答えを実現しなくてはなりません。誰でもいつでも訪れることができる教会を立てるのです。

契約の祈り

私の今日が契約の旅の中で、契約の力が実現される答えの中で、人生が証拠となって作品となりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

Q.

いつか天国に行くので

礼拝で恵みを受けながら
未来を見据えて考えなければなりません。
「次世代が見てキリストをどのように学ぶようにするのか」
自分の名前と業績でない足跡を残さなければなりません。
次世代が教会生活を送りながら
「私もこういう信仰生活を送りたい！」
「私もこのような教会を立てる人になりたい！」と
学ばなくてはなりません。
信仰生活は文字やことばではなく、生活を通じて
強く、深く伝わります。

私は今、何を伝えていますか。